

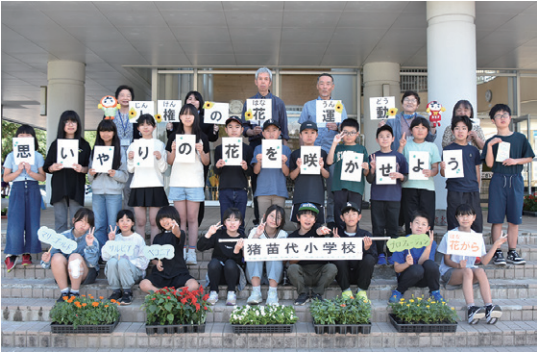
花を育て思いやりの心を育む

子どもたちが協力して花を育てることで、命の大切さや思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深める「人権の花運動」が6月から猪苗代小と猪苗代第二小で行われ、今年から新たに猪苗代支援学校でも始まりました。

花の苗は、人権擁護委員の協力を得ながら各校に届けられ、マリーゴールド、サルビア、ペゴニア、プロフュージョンの4種類の花の苗を児童・生徒が手分けしてプランターや花壇に植えました。



(写真上) 植栽する二小の児童
(写真左) 代表で花の苗を受け取る支援学校の生徒(左)



贈呈式に出席した猪苗代小の児童ら



花の苗の贈呈を受けた猪苗代第二小の児童ら



活躍を誓った(右から)小坂橋さんと五十嵐さん



健闘を誓う(左から)星さん、岩橋さん、渡部さん

インターハイでの健闘を誓う

全国高校総体(インターハイ)に出場する高校生5人が町役場を訪れ、二瓶盛一町長に意気込みを語りました。

7月3日には、柔道女子63^{キロ}級に2年連続で出場する会津農林高校3年の小坂橋望香さん(見称)、ライフル射撃女子チームライフル立射60発競技に初出場する会津学鳳高校1年の五十嵐咲心さん(見称)が訪問。また、同22日には、陸上競技に出場する学法石川高校3年の岩橋菜乃さん(扇田)、同校2年の星 終斗さん(千代田)、帝京安積高校2年の渡部湧斗さん(水沢)が二瓶町長に出場を報告しました。岩橋さんと星さんは1500[㍎]、渡部さんは5000[㍎]にそれぞれ初出場します。

二瓶町長は5人に激励金を手渡し、「町民みんなで応援しています」とエールを送りました。

○選手の意気込み
小坂橋さん「まずは1勝し、去年より良い結果を残したい」、五十嵐さん「練習の成果を発揮し、良い結果を出したい」、岩橋さん「自己ベストを出して、決勝進出を目指したい」、星さん「積極的に強気に走って、入賞を目指す」、渡部さん「ほかの選手に良い刺激を与えられるような走りをしたい」

大恐竜展
—新発見の堅頭竜類ザヴァケファレ—

2019年、モンゴル・ゴビ砂漠で「頭突き恐竜」として知られるパキケファロサウルス類の世界最古となる新属新種の化石が発見されました。本展では、この世界初公開となる実物化石をはじめ、生体復元模型やティラノサウルスなどの大型恐竜骨格レプリカを展示します。

県立博物館開館40周年と、本県で初めて恐竜化石が発見されてから40年を記念した特別展で、恐竜ファンはもちろん、幅広い世代が楽しめる内容です。

- 会期 7月11日(土)～9月23日(水・祝)
- 会場 県立博物館(会津若松市)
- 開館時間 午前9時30分～午後5時(夜間開館日は午後7時まで)

詳しくはこちら



※前売り券の販売は終了しました。

- 夜間開館日 毎週土曜日、8月10日～14日、21日、28日、9月20日～22日
- 休館日 月曜日(8/10、9/21を除く)
- 大恐竜展実行委員会(福島民友新聞社事業部)
- ☎ 024(523)1334(平日午前10時～午後4時)

地域おこし協力隊通信



私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

吉田 高裕 さん

主な活動内容：緑の村振興、有害鳥獣駆除等支援

はじめまして。6月に地域おこし協力隊に着任した吉田高裕です。

神奈川県川崎市出身で、前職では自動車関係の仕事に携わっていました。アウトドアが趣味で、冬はスノーボード、夏はキャンプを楽しむために猪苗代町を訪れていました。雄大な自然に魅了され、「いつかこの町に移住したい」という思いが強くなり、地域おこし協力隊に応募しました。

私の任務は、「緑の村」の振興と有害鳥獣対策の支援です。「緑の村」の魅力をさらに高め、多くの人に訪れていただけるような活動に取り組みとともに、地域を巡回しながら鳥獣被害の状況を把握し、対策の支援にも取り組んでいきます。

この美しい自然環境を守りながら、人と野生動物が共存できる環境づくりにつながるよう、一つ一つの活動に取り組みでいきたいと思っています。

一日も早く地域の皆さんのお役に立てるよう、フットワーク軽く活動していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。